

# やまぼうし

社会福祉法人 市島福祉会  
認定こども園 いちじまこども園

〒669-4321  
兵庫県丹波市市島町上垣138-1  
( ) 0795-85-2330  
(fax) 0795-85-2335  
http://www.ichijima-kodomoen.com



いきよう  
からいっぱい  
ぶんらしく  
ますぐに



## ~こども園まつりをしたよ!~



いちじまこども園では2月13日(土)に、こども園まつりを行いました。こども園まつりでは、一年間のまとめとして、4月からこども達が保育者やお友達と楽しんできた遊びを通して、個々の成長や集団としての成長を見ていただきました。

シンデレラ☆~まつぼっくりバージョン~  
(5歳児)

ダンスでダンスを  
しているよ!



ピピディ  
パピディ  
プー♪



10びきのかえるののどじまん  
(4歳児)

船に乗って  
出発だー!



グリーンマントのピーマンマン  
(4歳児)

おれたち  
バイキン!



みんなでうんとこしょ  
(3歳児)

うんとこしょー!  
どっこいしょー!



みんななかよしこえだくみ  
(2歳児)

こえだれっしゃ!  
出発~!



どーぶつざんとあーそぼ♪  
(1歳児)

おおかみさんと  
一緒にあそぼー!



ちびっこマン体操  
したよ!



きのこれっしゃ  
(0歳児)

大きな栗の~  
木の下で~♪



### 認定こども園いちじまこども園 平成27年度 在籍人数

クラス 月	きのこ組 0歳児	はっぱ組 1歳児	こえだ組 2歳児	どんぐり組 3歳児	くるみ組 4歳児	まつぼっくり組 5歳児	計
2月	12	32	26	34	43	29	176

### 地域別在籍人数

鴨庄	美和	吉見	地域外
35	64	59	18

### 子どもが幸せになれる地域とは

市島福祉会理事 荒木 謙



この地域には、自然に囲まれたすばらしい環境の中、昔ながらの温かな心の交流がたくさんあります。歩く道すがら、又買い物の店先や農作業の合間に、温かな言葉や笑顔のやりとりが行われ、互いの健康や家族を慮るやさしさにあふれています。そして、自治会や隣保など暮らしの中にある集まりや祭りごとが和やかに行われ、そこで子どもたちは行事の伝承とともに、挨拶の仕方や人との関わり方を学びます。なんと素晴らしいことでしょうか。

もしも、自分の周りに住んでいる人の誰もが知らない人ばかりで、理解し難い言葉や文章であふれていたとしたら、どうでしょう。いつ何が起きるか予想もつかないところでは不安が募り、家から出ることさえ憚られ怯えるばかりの日々となりましょう。そんなことを思うと、当然の如く安心して生活していただけることを有難く思い、この地域や周りの人々に感謝せずにはられません。

幼子には安全と安心がまず不可欠です。子どもは安定した環境の中でこそ、どんどん活動的になり、目の色をかえて何にでもチャレンジし、「おもしろい!」「わ!すごいっ!」「もっとやりたい!」という感動とともに自分の世界を広げていき、自分で自分を作っていくのです。

未来に生き、次の世の中を作っていくこの子どもたちのために、我々は惜しまずに限りなく力を注ぐべきだと思います。この地域の美しい自然とおいしい農産物、そして人々の温かい繋がりや協力体制を維持できれば、今後もその育ちをしっかり支えていけると私は確信しています。

### 倉橋惣三の言葉

「二月」

おとなが、  
寒さにふるえて冬籠る此の二月こそ、  
子どもとおとななどの違いを、  
しみじみと思わせる月である。  
それにしても、  
子どものお陰でこそ、  
二月の雪も、  
さえざえと  
よろこんでいることであろう。



解説)この寒い時期にも、子どもは寒さなどを  
感じさせず、外を駆け回ります。  
こども達のいる園は、寒さも吹き飛ばす  
熱気があふれかえっています。

倉橋惣三 1882~1955)  
「日本のフレンド」あるいは「日本の幼児教育の父」と呼ばれる幼児教育学者。倉橋が展開した子ども心に徹底的に寄り添い、子どもの遊びや自発性を重視した幼児教育論は、まさしく現代に通じるもの。誘導保育論が特に有名である。